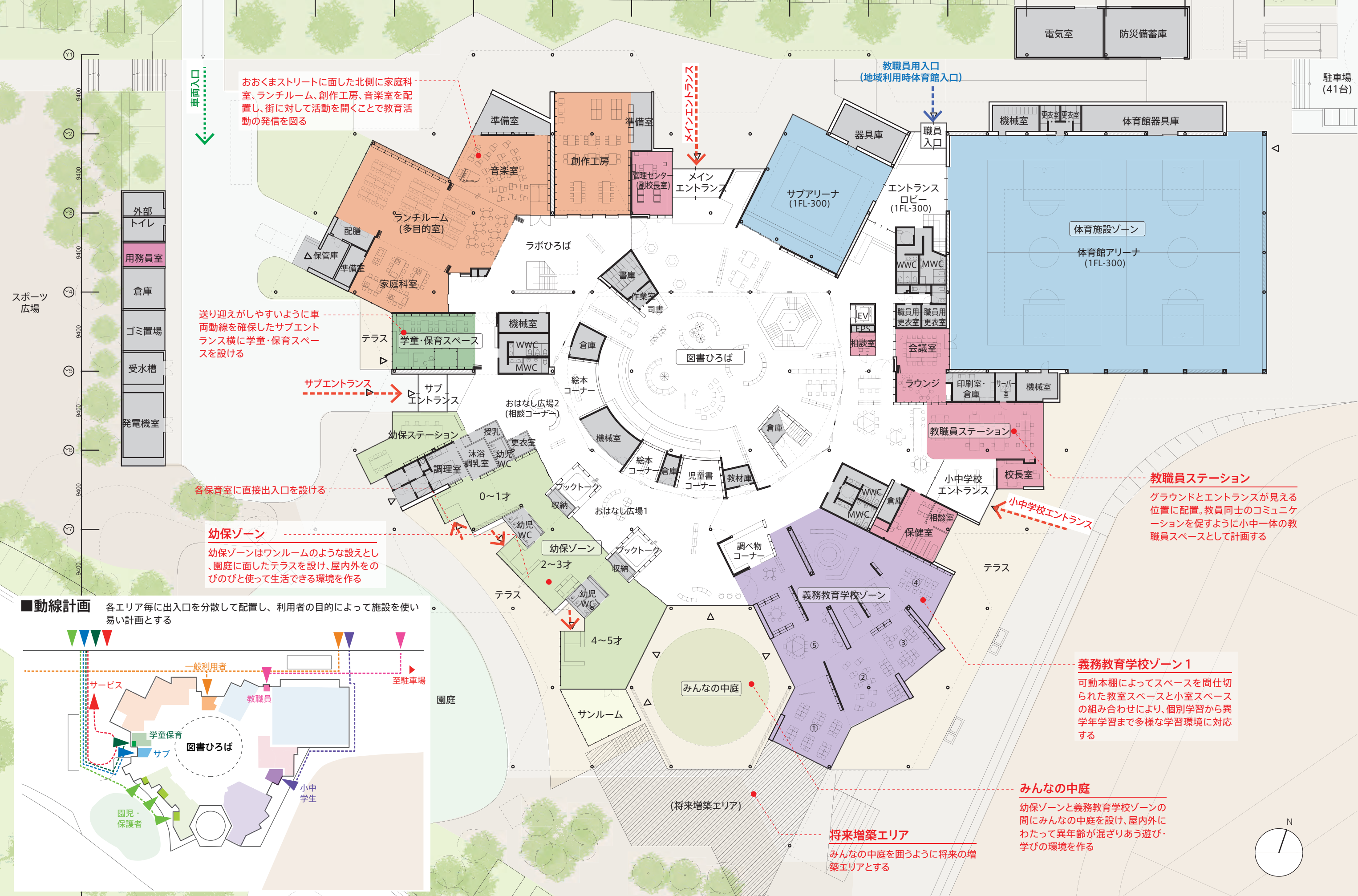


■ 1階平面計画図



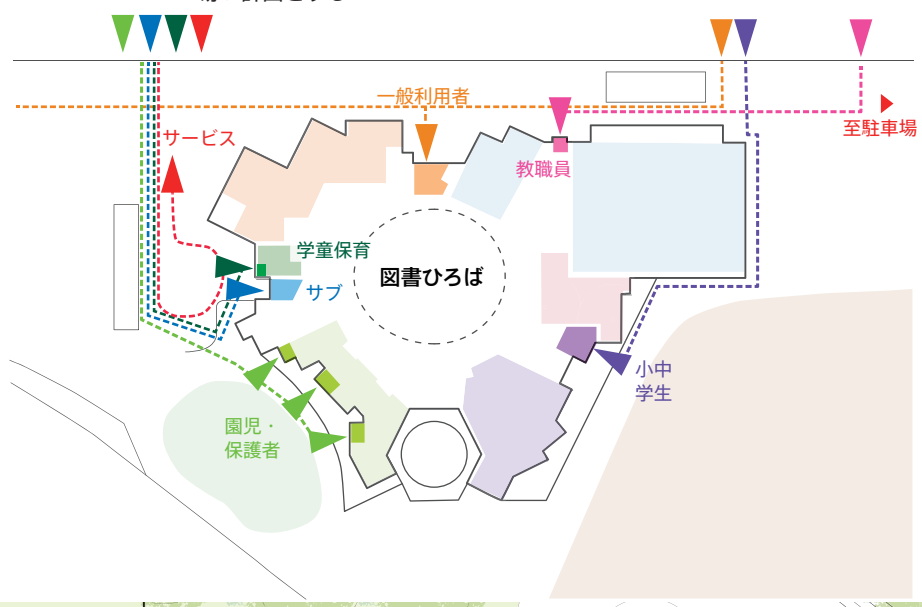
おおくまストリートに面した北側に家庭科室、ランチルーム、創作工房、音楽室を配置し、街に対して活動を開くことで教育活動の発信を図る

送り迎えがしやすいように車両動線を確保したサブエントランス横に学童・保育スペースを設ける

各保育室に直接出入口を設ける

幼保ゾーン
幼保ゾーンはワンルームのような設えとし、園庭に面したテラスを設け、屋内外をのびのびと使って生活できる環境を作る

■ 動線計画 各エリア毎に出入口を分散して配置し、利用者の目的によって施設を使い易い計画とする



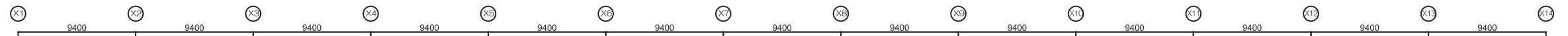
教職員ステーション
グラウンドとエントランスが見える位置に配置。教員同士のコミュニケーションを促すように小中一体の教職員スペースとして計画する

義務教育学校ゾーン1
可動本棚によってスペースを間仕切られた教室スペースと小室スペースの組み合わせにより、個別学習から異学年学習まで多様な学習環境に対応する

みんなの中庭
幼保ゾーンと義務教育学校ゾーンの間みんなの中庭を設け、屋内外にわたって異年齢が混ざりあう遊び・学びの環境を作る

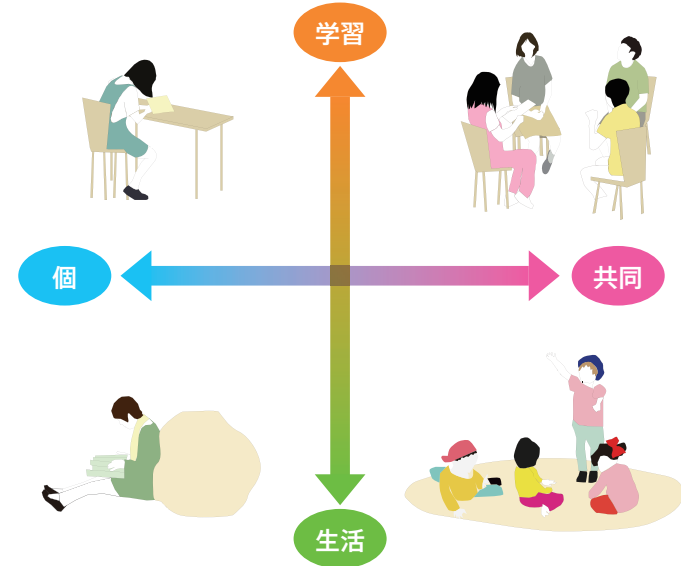
将来増築エリア
みんなの中庭を囲うように将来の増築エリアとする

■2階平面計画図



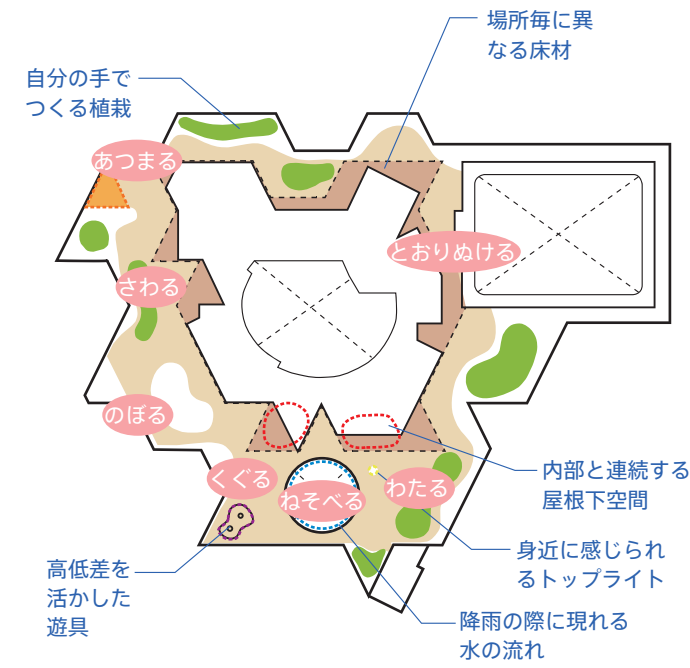
□学習環境の考え方

施設全体の学習環境の設えとして、落ち着いて学習に集中できる環境からリラックスできる環境、個人で学習する環境から共同で学習する環境、様々なシチュエーションに対して対応する場所を用意し、生徒が自分で環境を選択しながら学習できる計画とする。



□屋上広場計画

1階屋上は、『遊びと創造のひろば』をテーマとし、子供たちが遊びながら学べる仕組みを随所に取り入れる計画とする。



屋上広場計画イメージ図

